

特別の教育課程編成について（英語活動の実施）

1 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

小学校第1学年と第2学年では、「生活科」の時間を35（1年生は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案） ※令和2年度版

区分	各教科										特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作DVD『OK English(約8分のDVD)』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。DVDの内容は、英語の歌、※1フォニックス、リズムに合わせて※2ネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともにDVDを繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

※1 綴り字と発音との間に規則性を明示し、正しい読み方の学習を容易にさせる方法の一つ

※2 英語を母国語とする外国人のこと

【資料2】OK English



2 本校の取組

城南小学校では、毎日13時45分から55分を「昼の活動」と基本的に位置づけ、1～4年生は「英語活動」を行っています。ただし、本年度は、臨時休業による授業時間の不足を補うため、月、木曜日については「昼の活動」時間を延長し、「英語活動」だ

けでなく他の教科の学習を行うときもあります。

児童、担任ともに、DVDを視聴し、ネイティブスピーカーの発音や動作を、楽しそうに真似ながら、英語に慣れ親しむ姿が見られます。

3 成果

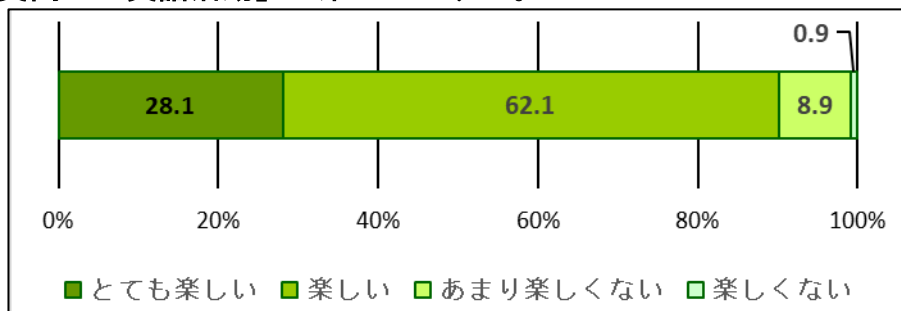
令和元年度、1年生から4年生の児童にアンケートを行ったところ、「英語活動は楽しいですか」という質問について、「とても楽しい」、「楽しい」と回答した児童は、全体の90.2%でした。

また、英語活動で、「英語の歌を歌ったり、簡単なゲームをしたりすること」、「友達と英語でやりとりをすること」を好きと答える児童が63.6%おり、英語を発音したり、友達と簡単な会話をしたりすることに対して意欲が高いと言えます。

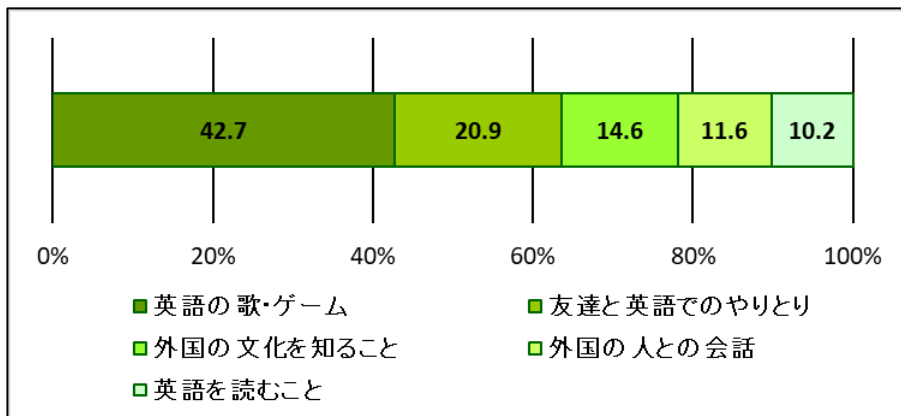
さらに、「英語を使ってしてみたいこと」については、「外国旅行で英語を使いたい」(26.0%)、「外国の人と英語で話したい」(20.1%)の回答が多く、子供たちは、将来学んだ英語を外国で、または、外国の人に使用したいと考えていることがわかります。

【資料3】児童のアンケート結果

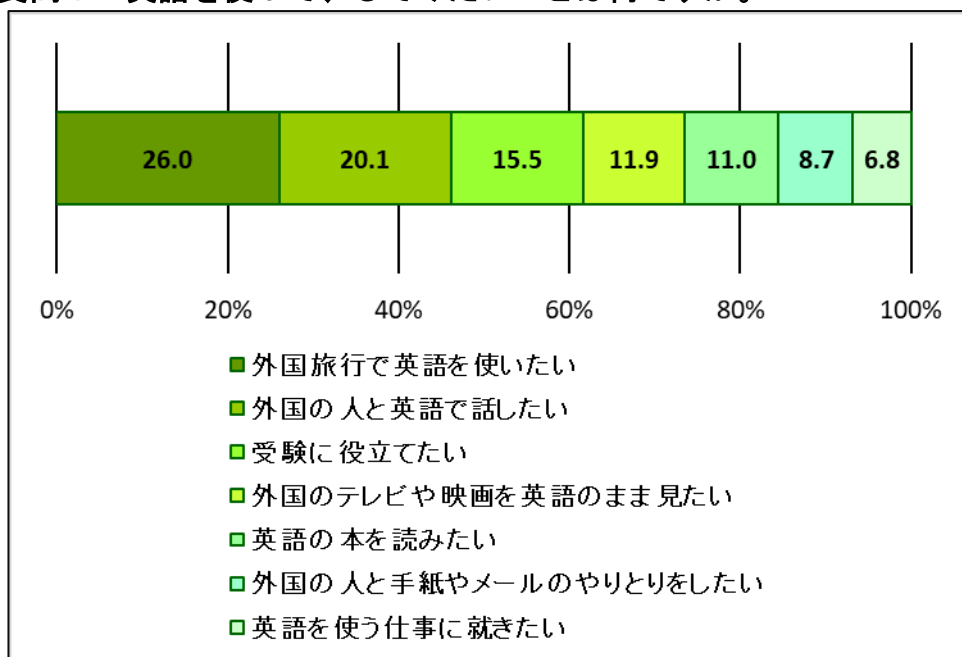
質問1 「英語活動」は楽しいですか。



質問2 「英語活動」の時間で、好きな活動は何ですか。



質問3 英語を使って、してみたいことは何ですか。

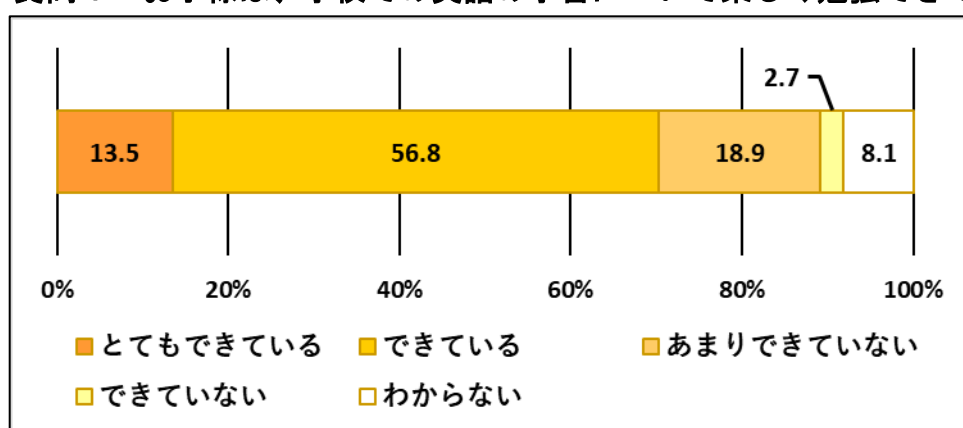


4 保護者の声

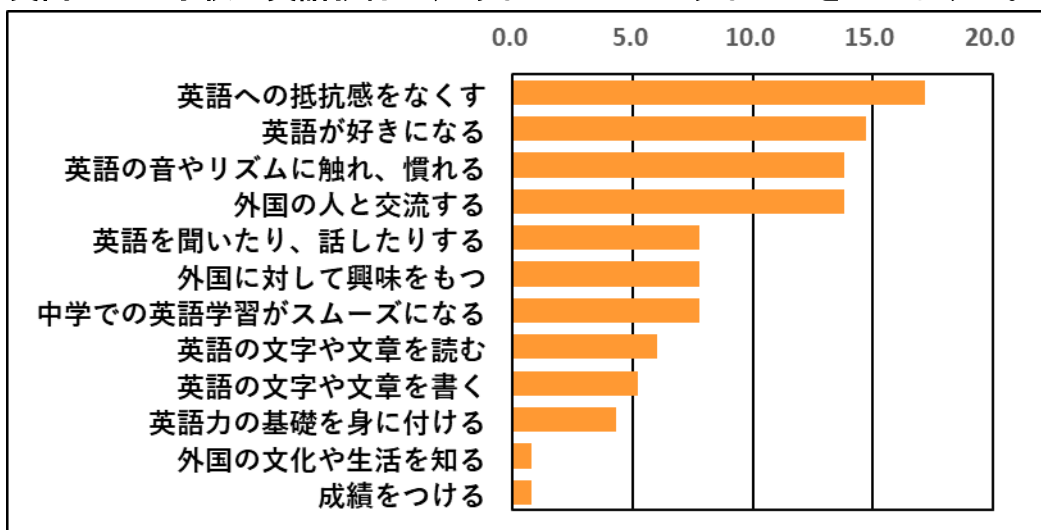
令和元年度に行った保護者向けのアンケートでは、「子供が英語を楽しく勉強できているか」について、「とてもできている」「できている」と回答した保護者は70.3%であった。また、保護者は、小学校の英語教育に対して、「英語への抵抗感をなくす」、「英語を好きになる」、「英語に慣れる」ことを期待し、将来的には、日常会話や海外旅行で困らない程度の英語力を、子供に身に付けてほしいと考えていることがわかりました。

【資料4】保護者のアンケート結果

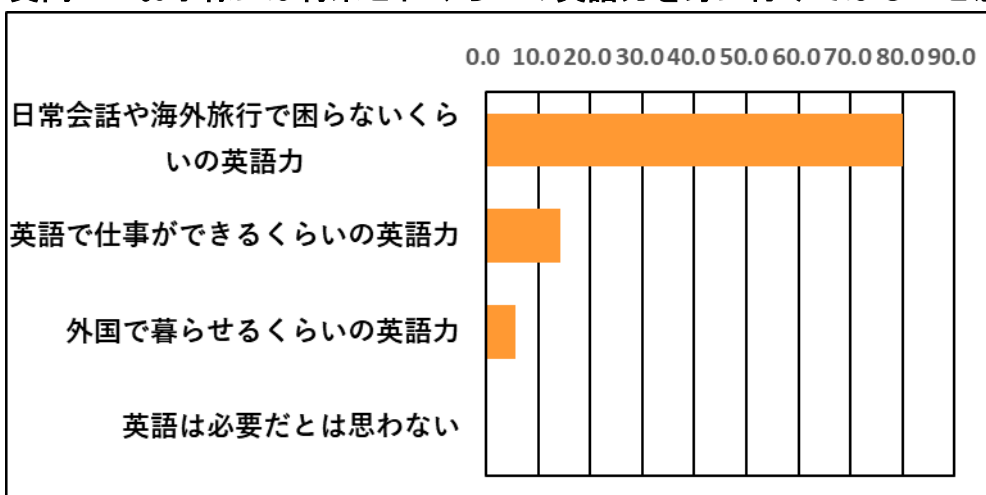
質問1 お子様は、学校での英語の学習について楽しく勉強できていますか。



質問2 小学校の英語教育で、あなたはどのようなことを望みますか。



質問3 お子様には将来どれくらいの英語力を身に付けてほしいと思いますか。



5 まとめ

英語活動が、「とても楽しい」、「楽しい」と90.2%の児童が回答する一方、「子供が英語を楽しく勉強できているか」について、「とてもできている」「できている」と回答した保護者は70.3%であり、認識の差が見られました。

ホームページや学校新聞、授業参観等を通して英語活動に意欲的に取り組む子供たちの様子を発信していきたいと考えています。今後も活動内容を工夫して、子供たちが英語に親しみながら、外国の文化にも触れ、互いの理解が深まっていくよう、英語活動の充実に取り組んでいきます。